

「恩返し」の気持ち忘れず やる気とコミュニケーションを大切に

**指導してくれた先輩よりも
重機の運転の技術を上げる**

**認められるためには
一つずつ仕事をこなす**

私の前職は調理師。製造業に興味を持ち、9年前に入社しました。選炭・物流課の清掃機動班として、ベルトコンベア下の落炭清掃作業に携わり、重機や大型車両の運転が必須であるため、当初は「苦労。両手や両足のレバーを操作して、前進・後進、昇降するなど、頭で思い描いたとおりに操作できずに苦労しました。

休憩時間に、先輩たちから「乗ってみろ」と声を掛けられ、コツを教わりながら、ボブローダー、ショベル、ユンボ、バキューム車など、一つひとつ技能を習得して仕事の範囲を広げました。分からないことは、その日のうちに質問して、消化することが成長への近道だと実感しています。

私の入社時は、年が離れた先輩が多く、周りの人とうまくコミュニケーションが取れるかが不安でした。最初に、7歳年上の先輩が話し掛けてくれたことをきっかけに、職場に溶け込むことができたことを思い出します。以来、自分も頼られる人になりたいと思うようになり、職場の方に積極的に話し掛けるようになりました。

班長になつてからは、周りから尋ねられる機会が増え、不明点は調べて後から必ず答えることを意識しています。自分がされてうれしかったことを相手にも実践することが、周囲との良好な関係を築く力だと、仕事の経験から学びました。



休日は家族サービスを大切に、息子2人とニンテンドースイッチをしますが、「お父さん、上手」とリスベクトされています

人間関係を築くための心得

- 安全最優先、禁制事項を頭に入れてから、仕事をする。
- 不明点を聞かずに大事に至るよりは、取りまわめてその場で質問する。
- 聞くタイミングは休憩時間。本当に分からないときは、すぐに聞く。
- あいさつと返事は絶対にする。→反応しなければ、先輩たちに可愛がられない。
- 苦手な人にも、顔や態度に出さない。
- 仕事の頼みごとを聞いてもらうためには、普段のコミュニケーションを大切にする。
- メモを取る、メモを持ち歩く。

上司から一言

森川班長は、率先垂範する姿勢が素晴らしく、重機の運転技能と安全最優先のレベルがピカイチです。誰にでも気を遣い、指示伝達をできるので、グループ員も森川班長の言うことは守ってくれます。抜群の信頼を寄せられ、職場になくはない存在ですので、今後の活躍に期待しています。



係長 濱崎 一雄 さん



八幡支店
選炭・物流課 班長
森川 公太さん
(2009年入社)



6S活動を業務として、構内を清掃する森川さん。重機の運転技術を上げるには、休憩時間を利用した練習の繰り返しが大切



図面を見て、頭の中で鳥瞰図を描き、立体的な構想で製作できるようになりました。野書が必須で、コンパスを使い、直角三角形を描くことが基本。弦を引き、円を12等分することをグループ全員が理解しています。円周率は3.1415…まで考え、ミリ単位の誤差を無くします



簡単な図面を見てイメージし、精度や強度など、すべて計算して製作。S-QC・提案活動など、改善をすぐに形にできることが自職場の誇りです

資格合格にぐっと近づく秘訣

- 実技試験の練習では、まずやり方を身に付ける。慣れたら「できるだけ早く」。
- 最初はうまくいかなくて当然。「こんなもん!」と割り切って、練習を重ねれば少しずつ上達する。
- 筆記試験の勉強は、毎日2時間などと時間を決めて、集中して取り組む。
- 過去問は5年分くらい、何度も繰り返し解く。

大杉班長が保持する免許・資格

- 鉄工技能士 製缶作業1級・2級
- 第二種電気工事士
- 危険物取扱者乙種4類
- 溶接技能SA-2F、SA-2P
- ガス溶接技能講習
- フォークリフト運転技能講習
- 玉掛技能講習
- 車両系建設機械(整地・運搬・積込み用および掘削用)運転技能講習
- 第一種酸素欠乏危険作業主任者技能講習
- 車両系建設機械(解体用)運転技能講習
- 足場の組立て等作業主任者技能講習
- 粉じん作業の特別教育
- 酸素欠乏危険作業の特別教育
- 職長・安全衛生教育
- アーク溶接の特別教育
- 5t未満のクレーンおよび5t以上の跨線テルハ運転の特別教育



八幡支店
製鋼課 班長
大杉 歩さん
(2008年入社)

上司・先輩から部下・後輩へと技能が受け継がれる風通しの良さも、資格合格率の高さにつながっています

資格取得の勉強法

**資格取得で基礎を身に付け
応用力を高める**

**新人時代は四六時中
仕事のことを考えた**

八幡製鉄所製鋼工場から請け負う設備の製作(手摺やデッキの補修などが、所属するVOD整備班の仕事。製缶が必須で、鋼板や形鋼などに穴を開けたり、曲げ加工や溶接を行ったりするなど、図面をもとに、正確に素材を加工する技術が求められています。「仕上りの精度も大切だ」と、新人時代に上司から丁寧に教えてもらったため、その方を目標にして、頑張りました。

当初は、仕事の段取りや手順、手つきなど、ベテランの方のコツを目で見て盗み、実践することの繰り返し。帰宅してからも四六時中、仕事のことを考えていました。

**頭の中で完成をイメージし
鳥瞰図で見て製作する**

「国家資格を取得して、モノづくりに携わることが、客先の信頼につながる。合格したら、先輩に合格指導する」というのが、課の伝統です。各種クレーンや大型車両系建設機械の免許は必須ですが、鉄工技能士の製缶作業1級取得が私の転機。上司から、合格対策の指導を受けることができ、質問しやすい環境にありました。ミリ単位の誤差が許されない世界で、試験課題も多く、実技対策には「苦勞」「発で合格したい」と信念を持ち、合格に至りました。資格により知識はもちろん、発想力がアップ。頭の中で完成をイメージして、鳥瞰図で見て製作できるようになったことが、大きな成果です。

上司から一言

大杉班長は、技能を習得しても慢心することなく、常に向上心を持って行動しています。特に結婚し、父親となったことで、仕事に対する意欲が向上したように感じます。今後は班長として、部下の育成、職場の安全管理にも努め、さらなる飛躍に期待しています。

職長 久保 洋一さん



ギモン

仕事を一人で任されることが増えても、
一人前になるには最低5年必要だと言われています。
まだ発展途上の皆さんは、さまざまな不安や悩みを抱えています。
不安を払拭するため、上司・先輩からアドバイスをもらいました。



お悩み1

「挑戦したい」と
言い出せません。



自分の成長のためにも、
新しいことや不慣れなこと
に挑戦したい気持ちには
あります。ですが、邪魔になっ
てしまったり、作業が遅れたり
してしまうのではないかと不安で、
やらせてくさいと積極的に言
いづらいです。



作業は経験がものを言
います。例えば整備作業で
あれば、一人前になるのに
5年かかるもの。やってみると
きは聞いてやってみて、だめなら
代わってもら、それでもいい
んです。禁制事項の重点ポ
イントや注意点は、きちんと
伝えまますし、見ておいて「こ
うやった方が良さ」という
点があれば指導します。

手先の器用さも、もちろん
大事ですが、どれだけその
仕事に真剣に取り組んだか
が一番。部下の挑戦したい
という言葉はうれしいですし、
意欲が見えると、こちら
からも「やってみて」と
言いやすいです。

お悩み2

報連相が
うまくできない
ときがあります。



事務所にいる上司に現場
から電話で報連相を試
みる際、相手も忙しいので手
短かに伝えなければという焦
りを感じます。知識不足もあ
って口頭ではうまく伝
わらず、上司に現場まで見
に来てもらわなければなら
ないことがあり、申し訳な
い気持ちになります。また
タイムリミットも、つい
作業に没頭して、遅くな
ってしまうことを痛感して
います。



状況にもよりますが、何
かあれば、まずはすぐに連
絡してほしいです。「設備が
こうなっている」と伝えて
くれると、とても助か
ります。問題ないかと判断
できれば不要ですが、こ
れも経験。大丈夫だと思
い込み、問題を放置するの
はいけません。また、本
人たちは連絡不要だと思
っている場合、上司から
すると連絡してもらわ
ないと困ることもあります。
遠慮せずに進捗・近況
報告までしてくれたら、
安心できますね。

二人の職場情報

渡辺さんは2015年の入社以来、TCPの点検設備や鋳鉄機、N鋼輸送関係、軟水設備、ダストリサイクル設備などの、自社設備の点検・整備作業を行っています。

私はつい、目の前のことに集中してしまいがち。作業を誰かに見られるとプレッシャーを感じますが、岡野主任からアドバイスを受けて、作業がやりやすくなること多いです。視野も仕事の幅も広げたいので、今後も頑張ります。

渡辺さん
から
岡野主任へ

岡野主任
から
渡辺さんへ

渡辺さんは、いつも段取りをしっかりやってくれます。準備を頼んでおいたら、道具など不備なく完璧に用意してくれる。当たり前のことを当たり前でちゃんとしてくれるのは、何より大事なことです。仕事は経験あるのみで、失敗も大切なので、根気よく一緒に頑張っていきたいです。

新入社員へアドバイス

まずは先輩たちが「おはよう」と言う前に、自ら声を出すことが一番！周囲に明るい印象を与えるので、お互い馴染みやすくなります。明るい後輩のほうが、先輩たちも冗談が言いやすく、仕事しやすい関係ができます。

相談者

八幡支店 整備・工事課

渡辺 将和さん

回答者(上司)

八幡支店 整備・工事課

岡野 修治主任



先輩教えて
ください!

若手社員の素朴な

お悩み1

仕事が難しく
覚えられるか
不安です。



電気整備の仕事は、やりがいがありとても楽しいですが、電気は目に見えないので、まずトラブルの発生場所を見つけるところから苦戦します。また、作業範囲が広いこともあり、毎日作業が異なります。そのぶん覚えることが多く、「きちんとやっていけるのかな」と不安になることがあります。



仕事は、自分で苦労してみたいと分らないところが大部分です。トラブルの原因を突き止める力ぎは、「二度起きたトラブルをいかに理解しておくか」。トラブルが発生した時、そのプロセスを頭の片隅に置いておけば、次に同じようなトラブルが起きた際に対応できるようになります。まずは私がリカバリーできるところから任せているので、失敗してもいいからやってみましょう。それが経験値となり、ものの動きや動かすための条件などが、数年後には分かるようになってきます。

お悩み2

1回で覚えられない
ので、2・3回は聞いて
しまいます。



できるだけミスしないように、分からないことはすぐに聞くように心掛けています。ですが、世間一般の新入社員教育などで、「一度聞いたことを何度も聞くのは良くない」ということを耳にします。習ったことはメモにも残しているのですが、何度も確認してしまうのは、やはりご迷惑なのでしょうか。



確かに、私の顔も三度まで。先輩たちも「いい加減にしろよ」というタイミングが出てくるとは思います。ですが、何も分からない状態のときに、すぐに覚えられこのほうが少ないです。自分自身の若手時代を振り返っても、一度で理解できたかという、そんなことはありません。一回言っただけでは分からないことは承知していますし、分かったフリをされるともつと困ります。独り立ちして苦労したときに、「そういうえば昔、先輩がこんなことを言っていたな」と思い出すことが大切です。

二人の職場情報

高野さんは2017年の入社以来、電気・計装班に所属し、自社設備の電気設備の点検・補修を行っています。

高野さん
から
中川主任へ

私はちょっとした仕事でも、任せられたらやる気が出ます。中川主任は、新しいことに挑戦させてくれますし、いつも分かりやすく説明してくれたり冗談を言ってくれたり、できるだけ作業がしやすい雰囲気を作ってくれます。頼もしい上司・先輩のおかげで、悩みはほとんどありません!

高野さんはとにかく素直。分からなかったらすぐに聞く姿勢があり、やる気が目に見えます。しかし、まだまだ物事を見る角度が違うことも。私も当然最初は分からないことだらけでしたが、工事連絡者やトラブル処置を経験し、苦労したことで「こうしなければいけなかった」と身に付きました。時間に余裕がある時は、できるだけ任せるので、しっかり成長してください。

中川主任
から
高野さんへ

新入社員へアドバイス

仕事を教えてもらったとき、分からないときは「もう一度教えてください」「これで間違いないでしょうか?」とすぐ言いましょう。分かったフリをして、違うことをしてしまうのは危険。やり直して2倍時間がかかることになるので、理解できなくても申し訳ないと思わず、すぐに伝えてくれたほうが上司も助かります。

回答者(上司)

大分支店 整備・工事課

中川 修主任

相談者

大分支店 整備・工事課

高野 佳佑さん